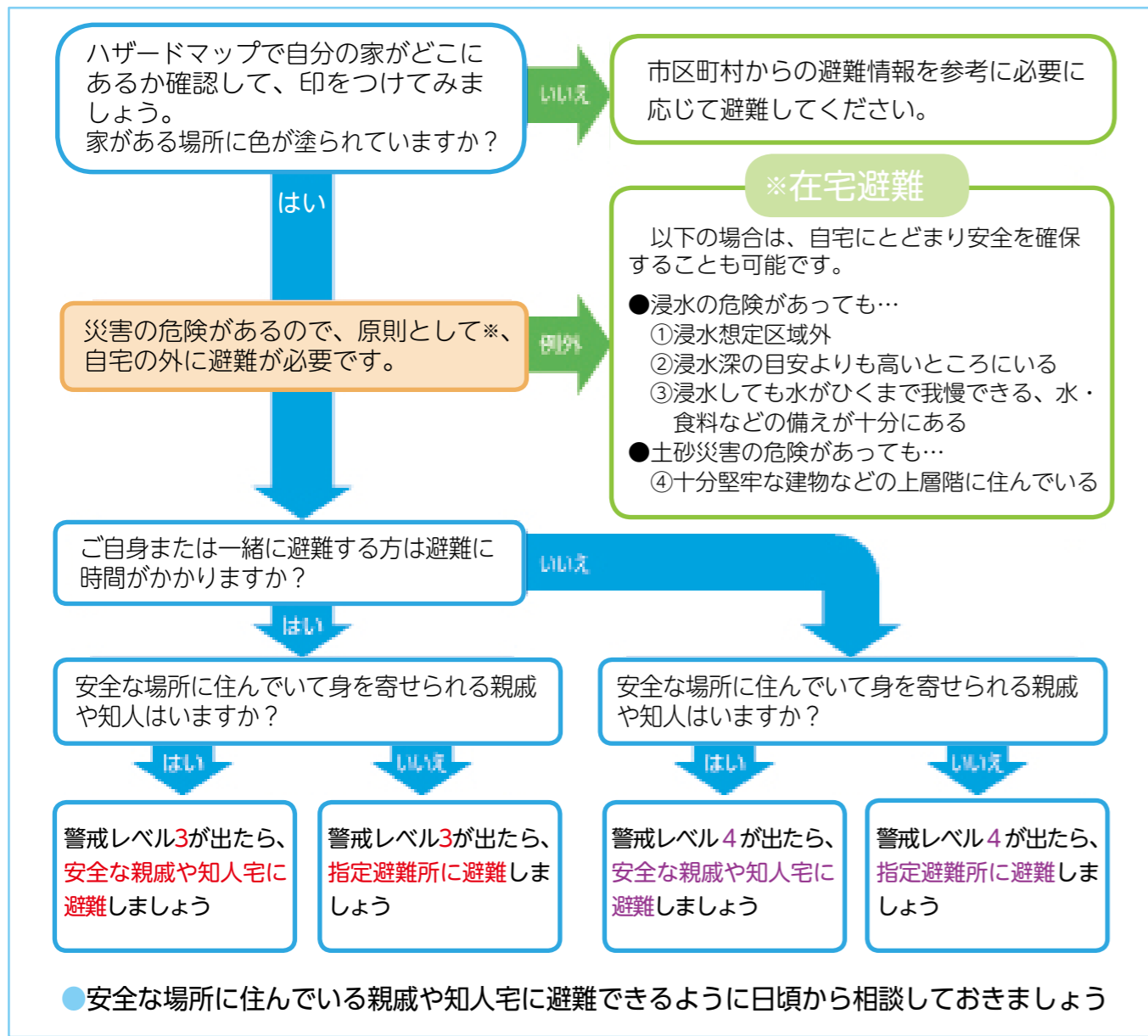


2 ハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

あなたが取るべき避難行動は？(必ず取り組みましょう)



【大雨の警戒レベル別】避難情報と避難行動

警戒レベル	住民が取るべき避難情報	目安の気象情報
5	〈災害発生情報〉 ・すでに災害が発生しています。 ・命を守るための最善の行動をとりましょう	大雨特別警報
4	〈避難勧告・避難指示(緊急)〉 ・速やかに 避難場所に避難 ※避難場所までの移動が危険な場合は、在宅もしくは知人宅などに避難	土砂災害警戒情報
3	〈避難準備・高齢者等避難開始〉 ・避難に時間を要する人と支援者は 避難を開始 ※高齢者の方や障がいのある方、乳幼児など	大雨警報 洪水警報
2	ハザードマップ等で避難行動を確認	大雨注意報 など
1	災害への心構えを高める	

ここが大切！

- 避難の目的は、「難」を「避」けることです。自宅の安全が確認できれば、無理に外に退避する必要はありません。
- 避難先として、安全な親戚・知人宅に避難することも考えましょう。

台風・豪雨への「備え」はできていますか



梅雨の時期に続き、まもなく台風の季節を迎えます。全国各地で大雨の発生件数が増加傾向にあり、豪雨による河川の氾濫や土砂崩れなど多くの災害が発生しています。災害を自分ごととして「自分の命、財産は自分で守る」を心がけ、平時から備えることが大切です。

今月号では、危険箇所の確認や情報収集の方法などを紹介します。大雨、台風への「備え」を万全にしておきましょう。

1 ハザードマップで危険箇所や避難経路を確認をしましょう

町は、土砂崩れや洪水などの自然災害が発生した際に、どの地区がどのような被害を受ける可能性があるかを、地図上に色分けして示したハザードマップを作成しています。町ホームページで閲覧できますので、確認しましょう。

○洪水ハザードマップ(土砂災害警戒区域を含む)



ハザードマップには町内の避難所や避難経路なども記載しています。どこに、どのように避難すればいいか必ず確認してください。

- 自宅や勤務先の近くに土砂災害などの警戒区域や危険箇所はありますか。
 - 家の近くの川が増水や氾濫した場合、避難方法はありますか。
 - 避難所までの道を実際に歩いてみるなど、確認してください。危険な箇所はありますか。
- ※ハザードマップは建設課でも閲覧できます。



- 閲覧する際は、こちらから
- ハザードマップは、令和3年2月を目途にリニューアルをして、各家庭に配布する予定です。